

## 会議録

令和4年2月16日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和3年度第7回定例会
開催日時	令和3年12月15日(水) 18時30分から20時まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	<p>委員：西原みどり(会長)、ギログリー江美(副会長)、三沢英俊、荒井茂、谷関幸子、小須田厚子、海老澤裕恵、石川健、青木美紀子、渡部國夫、小沼純子、荒井容子、高井正</p> <p>職員：高田館長、和田社会教育課長、國府方館長補佐(田無分館長)山本事業係長、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、市川事業係主査、星野事業係主査</p>
欠席者	中嶋太
議題	<p>1 主催事業について</p> <p>(1) 令和3年度公民館主催事業報告について(資料1)</p> <p>(2) 令和3年度公民館主催事業計画について(資料2)</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 令和3年度第4回定例会会議録(案)について(資料3)</p> <p>(2) 令和3年度第5回定例会会議録(案)について(資料4)</p> <p>(3) 令和3年度第6回定例会会議録(案)について</p> <p>(4) 令和2年度公民館事業評価について(資料5)</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 行政報告</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告</p> <p>(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告</p> <p>(4) 田無公民館の再開について</p> <p>4 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 令和3年度東京都公民館連絡協議会委員部会第1回研修会について</p> <p>(2) 第58回東京都公民館研究大会について</p> <p>(3) 令和3年度公民館運営審議会研修について</p> <p>(4) 今後の予定について</p> <p>(5) 令和3年度第8回定例会の開催について</p>
会議資料の名称	<p><b>【配布資料】</b></p> <p>資料1 令和3年度公民館主催事業報告書</p> <p>資料2 令和3年度公民館主催事業計画書</p> <p>資料3 令和3年度第4回定例会会議録(案)</p> <p>資料4 令和3年度第5回定例会会議録(案)</p> <p>資料5 令和2年度西東京市公民館事業評価表(案)</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 1人

## 会議内容

### 1 主催事業について

#### (1) 令和3年度公民館主催事業報告について（資料1）

##### ○A委員

子育て中の人のための講座（保育付き）「身近な人を大事にする～「聴く」「認める」から始めよう～」（ひばりが丘）について、「担当の考察・課題」欄に、夏休み期間中にグループを作り、オンライン会議 Zoom を使って実践報告をしたこと、しかし、幼い子を抱えてスマホやパソコンを操作することは容易ではなく、気軽に Zoom での報告会を行うことは再考すべきであることが書かれている。私は、夏休み期間中も参加者の関係をつなぐ工夫をしたことについては、それが自主サークル化にもつながっており、評価すべきであると思う。再考の余地はあると思うが、やめてしまうのではなく、例えば、他の家族がいる時に行うなど、実施できる工夫を参加者と一緒に考えて、関係をつなぐ試みは継続していただきたい。

##### ○事業係長

夏休み期間中の参加者をつなぐ取り組みを評価していただき、ありがたい。よりよい方法について参加者と一緒に検討してほしいという助言を担当者にも伝えたい。

##### ○公民館長

公民館では、今年度、オンライン会議システムのアカウントを取得し、まだ試行段階ではあるが、オンラインによる事業実施に取り組んでいる。新たな学びのかたちにオンライン会議システムをどう活用していくか、引き続き検討していきたい。

##### ○B委員

多世代交流講座「五感で楽しむアートセラピー」（芝久保）について、報告書を読むだけでは、アートセラピーがどういうものか、どういう作品を描いたのか、講座はどのような雰囲気だったのかわからない。作品を1点、見せてもらうなど、何かあればよいと思う。

##### ○分館長（芝久保）

アートセラピーの講座は今後も実施していく予定だが、今後は何らかの方法を考えたい。

##### ○会長

環境講座「土づくりと植物の不思議 種子にびっくりダネ！」（保谷駅前）について、高橋家の屋敷林をめぐっていろいろなアプローチをされていて、申込みも多く、人気の講座だと思う。公民館事業に初めて参加した人も13人いて、いろいろな方が参加している。高橋家の屋敷林は下保谷地域では有名で、イベントも行われており、地域住民は大切にしている。この講座の参加者は周辺地域の方か、市内全域から参加しているのか。

##### ○分館長（保谷駅前）

正確には把握していないが、広範囲の地域から参加しているという報告を受けている。

##### ○B委員

現代的課題を考える講座「ゆっくりと未来に向かおうパート3」（保谷駅前）について、「つくしの会」「西東京不登校を考える親の会 IPPO」「西東京市でこぼこ」との共催事業だが、これらの団体と教育委員会、学校との関係について伺いたい。

##### ○公民館長

3団体は、公民館の主催講座から発足した団体や公民館で活動している団体。公民館では、必要としている人に情報が届くように、教育指導課や教育支援課を通して、不登校の子どもやその保護者等へ講座の案内を行っている。

##### ○A委員

現代的課題を考える講座（保谷駅前）について、「担当の考察・課題」欄に、進路相談を含む講義と進路相談会に中学生が参加してくれたことはよかったとしつつ、「子どもの進路相談を公民館が行う事にとは違和感があった」という記載がある。私も学校教育で行う進路相談を公民館で行うことに違和感をもった。子どもの参加状況と、将来について考えるという大きな括りではなく「進路相談」とした理由を伺いたい。

##### ○分館長（保谷駅前）

本講座は、今年度で3年目となるが、一昨年度、昨年度は、実際の進路先となる通信制の学校や都立高校等の教員を呼んで個別の進路相談を行った。しかし、一昨年度は盛況だったが、

昨年度は参加者が少なかった。そこで、今年度は、個別の学校の教員は呼ばず、どのような進路先が向いているかについて話してもらおう進路相談を行った。

○公民館長

進路相談については、当事者が学校に行くのは難しいので、学校以外の場所で開催したら来るのではないかという要望があり、公民館で行った。しかし、実際には来る人は少なかった。今はオンラインによる進路相談も行われている。また、公民館は、進路指導をする場ではなく、悩みを共有したり、情報収集したりする場である。過去の講座参加者からは「ひとりで悩んでいたが自分の気持ちを出せてよかった」「ほかの人の話が聞きたい」という声が寄せられている。公民館はいろいろな人の居場所となる取り組みを行うべきで、進路相談はなじまないと考えている。

今日は、保谷中学校の三沢校長先生が出席されているので、可能であれば、お話を伺いたい。

○C委員

私がひばりが丘中学校にいた時に、保護者からの要望によりPTA主催で不登校に関する講演会と講座を行ったが、当事者は学校に来るのに抵抗があり、あまり集まらなかった。しかし、不登校の子どもを抱える保護者の結びつきを強める意図で、保護者が公民館と連携して行った会には、当事者が集まったと聞いている。子どもも保護者も、当事者には学校に足を向けてもらえない状況がある。学校は積極的に情報収集を行っているが、電話等でのつながりしか持っていない。そのような中で、学校を超えた保護者の横のつながりができていること、公民館という場所を通じてつながっていくことを、私は大変ありがたいと感じている。そのような方たちが、学校に情報を求めてくるという流れがある。学校の外で保護者が安心を得て、前向きな気持ちで学校に向かってくれており、機会があると学校に来てくれる生徒も増えている。保護者が横のつながりを外の場でもっていただくことは大切であり、進路指導は学校が主体的に行うもので、分けけて行うべきであると考えている。

○B委員

進路指導を公民館が行うのに違和感があるというのはそのとおりで、進路指導は学校が行うもの。自分が知りあった不登校の子どもたちはフリースクールに通っている。進路指導の前に、子どもも親も孤立している。担任教員が接触しようとしても、うまくいかない。公民館は家庭に対して何ができるかということだが、子どもと親がいかに孤立から逃れるかが重要で、親同士のコミュニケーションが大切だと思う。公民館では、そのようなことを中心に話し合う機会をもってほしい。

○D委員

講座の趣旨は不登校の子どもがいる保護者をつなげていくということだが、報告書を読むと、親子で参加することをめざしているのかとも受け取れた。報告書から、続けることの大事さ、公民館で行うことの大事さを感じる。今後、この講座に子どもたちが来る可能性があるのか。学校以外の場で、親以外の大人を交えて人生について語る機会があると、進路相談とは異なるかたちで、自分の未来が見えるのではないか。よい事業だと思う。

子育て中の人のための講座（保育付き）（ひばりが丘）について、「担当の考察・課題」欄を読んで、担当者はオンラインではなく対面で行えばよかったと考えたと受け取った。対面で行うことも方法のひとつとして考えられるのではないか。

○E委員

中学生に対しても公民館だからできることを追求してもよいのではないか。学校での進路指導は進学指導になってしまうこともあり得る。公民館にはさまざまな人が集い、いろいろな生き方をしている人がいる。多様な生き方に出会えるのが公民館。生き方という視点を取り入れて進路を考えていくことも大切ではないか。すべてを学校にまかせるのではなく、多様な生き方をしている人が集っている公民館のよさを生かして、中学生に対して何ができるか追及していくことも大切だと思う。

○F委員

多世代交流講座（芝久保）についてわかりにくいという意見があったが、私が講師をつとめた講座なので、概要を説明したい。アートセラピーは、単に絵を描くということではなく、聴覚、味覚、触覚など五感すべてを活かして創作を行う。もともと認知症の進行予防を目的に開

発されたが、認知症の高齢者だけでなく、子ども、障がい者など、あらゆる世代、あらゆる属性の人を対象に行うことができる。

## (2) 令和3年度公民館主催事業計画について（資料2）

### ○A委員

地域づくり未来大学ステップアップ編（柳沢）について、市の総合計画との兼ね合いで企画実施される講座だと思うが、その点について、説明していただきたい。また、地域づくりサポーターについても説明していただきたい。

### ○事業係長

地域づくり未来大学は、市の総合計画の主要施策にもなっている重要な事業で、地域デビューしたい人や地域づくりに貢献したいと思っている人たちが、何ができるかを学び、考え、話し合う講座。毎年度、講座終了後に「地域づくりサポーター」として登録したい人を募り、登録してきた。現在、34人のサポーターがおり、話し合いを続けてきたが、なかなか一步を踏み出せない状況がある。ステップアップ編は、サポーターが、地域活動に向けて一步を踏み出す支援をすることを目的として実施する。

### ○A委員

地域づくりについては、具体的にどのようなことをイメージしているのか。

### ○事業係主査

今年度の地域づくり未来大学には、地域で何をしたいかが明確な人、何かしたい、何か見つけたいと思っている人、既に活動している人を支援したい人、既存の団体に入りたい人など、さまざまな人が参加している。講座では、地域で活動している人を招いて話を聞く機会も設けている。実現の可否は別にして、活動するとしたら何をするかという企画書をつくるのが、今年度の目的。コロナ禍ということもあり、何かしたいと思っている人がない人が増えている。ステップアップ編では、講座卒業生の中でもサポーターとして登録している人を対象に、活動を始めることを支援する。

### ○D委員

防災講座「災害の知恵袋～基本の備えで憂いなし～」（芝久保）について、防災講座は、今回のような単発の事業を継続して行っているのか。これから発展させるのか。

### ○分館長（芝久保）

今まで数年にわたって、地域の避難所運営協議会と連携して防災講座を実施してきたが、コロナ禍ということもあり、今年度は難しかった。来年度から再スタートを考えているが、担い手が少ないという問題もある。今年度は、地域の人に防災意識をもってもらうことや、来年度以降の防災講座への協力者を得ることができればよいと考えている。

### ○D委員

次の事業につなげるように実施するとよいと思う。

## 2 審議事項

### (1) 令和3年度第4回定例会会議録（案）について（資料3）

### (2) 令和3年度第5回定例会会議録（案）について（資料4）

### ●令和3年度第4回、第5回定例会会議録（案）について承認。

### (3) 令和3年度第6回定例会会議録（案）について

### ●令和3年度第6回定例会会議録（案）については、各自、内容を確認し、1週間以内をめぐり修正意見を公民館に送ることとする。

### (4) 令和2年度公民館事業評価について（資料5）

### ●令和2年度西東京市公民館事業評価表・二次評価（案）について、付帯意見を添付した上で承認。

○E委員

一言感想を述べたい。事業評価作業に参加可能な委員みんなで行うことにしたことは、とてもよかった。コロナ禍で顔を会わせる機会も少ない中、オンライン会議システムも活用して、比較的少ない人数で意見交換ができた。ともに学ぶ機会、知り合う機会となり、つながりができて、よかったと思う。

### 3 報告事項

#### (1) 行政報告

○公民館長

西東京市議会第4回定例会について報告する。一般質問において、公民館に関する質問が1点、社会教育全般に関する質問が1点あった。公民館に関する質問は、柳沢公民館のロビーに関する事で、開閉できない窓を改修して、喫茶コーナーふれあいを窓側に移し、オープンカフェにできないかという趣旨の質問。柳沢・芝久保・谷戸・ひばりが丘公民館は都営住宅の施設を借用しており、施設の形質の変更には東京都の承認が必要となる。東京都は関係法令等に基づいて判断するので、改修は市単独の考えでできることではないこと、換気に配慮しながら運営していることを趣旨とする答弁を行った。社会教育全般に関する質問は社会教育主事に関する事で、現在、社会教育主事が配置されていないことなどを質問された。社会教育課には社会教育主事の任用資格を有する職員が2名おり、今後、配置について検討するという趣旨の答弁を行った。

#### (2) 公民館だより編集室報告

○担当委員

12月は編集室会議を開催しなかった。次回の編集室会議は令和4年1月5日(水)の予定。

#### (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

- 担当委員より、委員部会が担当する第58回東京都公民館研究大会第4課題別集会在12月17日(金)に行われたこと、その集会で担当委員が、動画上映という形で行ったひばりが丘フェスティバル(ひばりが丘)について事例報告をしたことを報告。
- 担当委員より、12月15日(水)開催の東京都公民館連絡協議会委員部会第1回研修会について報告。

#### (4) 田無公民館の再開について

○分館長(田無)

田無公民館の再開については、公民館だより令和4年1月1日号で広報する。田無公民館は令和4年4月1日に再開する予定。3階に新しい部屋が一つできる。これに併せ、一部の部屋の名称を変更する。また、休館前まで3区分だった実習室・視聴覚室の利用区分を他の部屋と同様、4区分に変更する。田無総合福祉センター3階の(仮)活動室の利用は3月31日をもって終了する。なお、1月22日(土)に事前申込制による説明会を行う。

### 4 事務連絡及び情報交換

#### (1) 令和3年度京都公民館連絡協議会委員部会第1回研修会について

- 当日、参加できなかった委員のために、録画を視聴する会を開催する。

#### (2) 第58回東京都公民館研究大会について

- 令和4年2月24日(木)から令和5年1月31日(火)まで、東京都公民館連絡協議会ホームページに動画が掲載される。無料で視聴できる。

**(3) 令和3年度公民館運営審議会研修について**

- 次の日程で実施する。

日 時：令和4年2月21日（月）午後6時30分～8時30分

場 所：田無第二庁舎4階会議室2・3

講 師：荒井容子委員

テーマ：公民館の市長部局移管を考える

**(4) 今後の予定について**

- 公民館運営審議会の令和4年1月、2月の予定を確認

**(5) 第8回定例会の開催について**

日時：令和4年1月26日（水）午後6時30分

場所：柳沢公民館視聴覚室